

令和5年度 第1回士別市人づくり・まちづくり推進協議会 議案

日 時 令和6年2月27日(火) 16時00分

場 所 士別市役所 2階 会議室 201・202

1 開 会

2 挨拶

3 委員紹介

4 議 事

(1) 正副委員長の選任

(2) 第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画 実績報告および計画について 資料1

(3) 第3期士別市男女共同参画行動計画 実績報告および計画について 資料2

5 閉 会

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画実施計画

令和4(2022)年度主要施策の検証・評価	1
主な生涯学習施設の利用者の推移	2
令和4(2022)年度事業実績・令和5(2023)年度事業計画	3

1. 令和4(2022)年度主要施策の検証・評価(案)

達成評価		A 達成割合 90%以上	B 達成率 80%以上	C 達成率 70%以上	D 達成率 60%以上	E 達成率 59%以下	一 評価不可 目標値なし	計	士別市人づくり・まちづくり推進本部の評価・検証			
学習機会の充実	1. 生涯学習の基盤づくり	件数	10	5	1	0	5	5	達成評価の「A: 想定以上又は想定どおりの成果が得られた」と「B: 想定した成果はほぼ得られた」の合計値が昨年度を上回り、昨年度よりも市民の生涯学習の充実・基盤づくりを進めることができた。今後、各学習機会が活発になり、市民の学習機会が多く設けられることを期待する。また、少子化による家庭教育・学校教育の対象者減が今後予想されるため、他部署や関係機関との事業連携を検討し、継続的な学習機会の充実や基盤づくりが必要である。			
		割合	38.5%	19.2%	3.8%	0.0%	19.2%	19.2%		100.0%		
		前年度の割合	46.2%	7.7%	3.8%	3.8%	15.4%	23.1%		100.0%		
	2. 多様な学習機会の提供	件数	15	3	3	3	10	18		新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため中止した事業はあるが、令和3年度と比較して「地域課題」「生涯スポーツと健康づくり」「芸術文化、郷土」「交流」など多様な学習活動が活発になってきたことが伺える。市民の多様な学習機会の提供は、学習意欲を充足することで、生活の充実感につながるようになるため、今後も多様な学習機会の提供、さらには市民ニーズを捉えた新たな学習の機会づくりを期待する。		
		割合	28.8%	5.8%	5.8%	5.3%	19.2%	34.6%			100.0%	
		前年度の割合	17.9%	1.8%	10.7%	5.3%	10.7%	53.6%			100.0%	
学習環境の充実	1. 学習情報提供・相談体制の充実	件数	2	0	0	0	2	1	市Facebookやホームページ、暮らしナビを活用しながら、広く市民に学習情報を周知する方法を検討していく。市民の多様な学習相談に対応できるように、生涯学習インストラクターの在り方や研修内容について協議を進めていく。			
		割合	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%			100.0%	
		前年度の割合	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.4%			100.0%	
	2. 学習施設・設備の充実	件数	3	0	1	0	2	3		本市の学習施設は、これまで多くの市民が利用してきた(利用実績は「2. 主な生涯学習施設の利用者の推移」のとおり)。令和4年度は、前年度に比べて利用人数は増加した。新型コロナウイルス感染防止対策を講じながらの実施が浸透し、学習活動が活性化してきたものと考えられる。学習環境整備の面では、Wi-Fi等を活用した学習が引き続き開催され、質の高い学習に繋がったものと推測される。		
		割合	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	22.2%	33.3%			100.0%	
		前年度の割合	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	33.3%			100.0%	
	3. 学習成果を地域還元する仕組みづくり	件数	11	4	2	0	3	6			達成評価の「A」および「B」の合計値は昨年度を上回り、市民の学習成果を地域還元する仕組みづくりが進んだことが推測される。この要因としては、学習機会が活発になったことで、学びと活動の循環の流れが戻ってきたことと考える。このことから学習機会の充実を図るうえで、各部署の基盤づくり、学習機会の提供は重要な取組であり、そのことが市民の活動の活性化につながるということが推測される。	
		割合	42.3%	15.4%	7.7%	0.0%	11.5%	23.1%				100.0%
		前年度の割合	26.0%	11.1%	0.0%	7.4%	37.0%	18.5%				100.1%
推進体制の充実	1. 生涯学習推進体制の充実	件数	1	0	0	0	1	3	生涯学習のまちづくりにむけて、市民が企画する学習活動の支援を行っていく必要がある。また、行政内部の組織である「人づくり・まちづくり推進本部」において、評価対象事業をPDCAサイクルによる検証を継続し、計画を推進する。			
		割合	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%				100.0%
		前年度の割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%				100.0%
計	件数	42	12	7	3	23	36	123				
	割合	34.2%	9.8%	5.7%	2.4%	22.9%	29.3%	100.0%				
	前年度の割合	25.2%	4.7%	5.5%	4.7%	22.9%	37.0%	100.0%				

達成評価

A: 実績値/目標値 おおむね90%以上 想定以上又は想定どおりの成果が得られた。
 C: 実績値/目標値 おおむね70%以上80%未満 想定した成果が十分には得られなかった。
 E: 実績値/目標値 おおむね59%以下 想定した成果が得られなかった。

B: 実績値/目標値 おおむね80%以上90%未満 想定した成果はほぼ得られた。
 D: 実績値/目標値 おおむね60%以上70%未満 想定した成果がほぼ得られなかった。
 ー: 成果を評価することはできない。

2. 主な生涯学習施設の利用者の推移

施設名		調査課	令和2(2020)年度		令和3(2021)年度		令和4(2022)年度	
			利用者数	【参考】市民一人あたりの利用回数(利用者数/年度末人口)	利用者数	【参考】市民一人あたりの利用回数(利用者数/年度末人口)	利用者数	【参考】市民一人あたりの利用回数(利用者数/年度末人口)
1	市民文化センター	文化センター	27,524人	1.53回	28,811人	1.65回	40,618人	2.32回
2	生涯学習情報センター	図書館	19,997人	1.11回	15,550人	0.89回	21,768人	1.24回
3	あさひサンライズホール	サンライズ	11,442人	0.64回	11,734人	0.67回	12,574人	0.72回
4	図書館	図書館	17,094人	0.95回	14,323人	0.82回	16,937人	0.97回
5	博物館	博物館	2,826人	0.16回	3,397人	0.19回	5,298人	0.30回
6	総合体育館	スポーツ	35,029人	1.95回	38,655人	2.21回	49,878人	2.85回
7	総合体育館サブアリーナ	スポーツ	4,358人	0.24回	集計方法変更により、総合体育館に統合			
8	スポーツ交流館	スポーツ	11,571人	0.64回	9,592人	0.55回	10,328人	0.59回
9	陸上競技場	スポーツ	21,627人	1.20回	16,030人	0.92回	18,332人	1.05回
10	日向スキー場(リフトの乗車人数)	スポーツ	143,880人	08.01回	199,472人	11.40回	166,728人	9.52回
11	あさひスキー場(リフトの乗車人数)	朝日スポ	30,914人	1.72回	23,910人	1.37回	26,375人	1.51回
12	ふどう野球場	スポーツ	3,778人	0.21回	4,219人	0.24回	5,051人	0.29回
13	天塩川サッカー場	スポーツ	9,844人	0.55回	8,812人	0.50回	1,126人	0.06回
14	南郷プール	スポーツ	7,291人	0.41回	7,077人	0.40回	7,350人	0.42回
15	あさひプール	朝日スポ	706人	0.04回	660人	0.04回	452人	0.03回
16	朝日農業者トレーニングセンター	朝日スポ	9,267人	0.52回	9,943人	0.57回	11,737人	0.67回
17	ふどう・天塩川パークゴルフ場	スポーツ	4,677人	0.26回	5,538人	0.32回	6,232人	0.36回
18	勤労者センター	社教	19,707人	1.10回	18,267人	1.04回	24,638人	1.41回
19	学校施設開放(スポーツ・文化)	スポーツ	8,363人	0.47回	20,988人	1.20回	17,380人	0.99回
合 計			389,895人		436,978人		442,802人	
			R3.3末人口	17,967人	R4.3末人口	17,505人	R5.3末人口	17,133人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画【PLAN】	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績【DO】	実績値	達成評価【HE OK】	成果・改善策など【ACTION】	令和5(2023)年度計画【PLAN】	目標(指標)値
1. 生涯学習の基盤づくり											
(1) 家庭教育の充実											
①家庭教育の重要性の理解と拡大											
1	「つどいの広場「きら」」交流事業	0歳～3歳児と親の「遊び・出会い・情報交換・悩み相談」などの交流の場として子育てを支援する。	保育推進課	生涯学習情報センターいぶき(火～土実施 日祝日・年末年始除く)とあさひ認定こども園内(火水金実施 月水土日祝日・年末年始除く)の2ヶ所で実施。	参加者数 士別 2,500人 あさひ 250人	・「むくくり」への委託事業：2か所を実施 ・生涯学習センターいぶき(火～土実施、日祝・年末年始除) ・あさひ認定こども園内(火水金実施、月水土日祝・年末年始除)	参加者数 士別地区1,912人 あさひ地区233人	C	朝日地区の開催日数の見直しを行った	「むくくり」への委託事業 ・生涯学習センターいぶき(火～土実施、日祝・年末年始除) ・あさひ認定こども園内(月2回)	参加者数 士別地区2,000人 あさひ地区200人
2	子育て講演会	子育てに関する知識の習得と情報収集のための講演会を開催する。	保育推進課	新型コロナウイルス感染症発生の状況により、3密となる講演会の開催が難しいことから、映像使用による知識習得と情報共有を図る。	参加者数 30人	身近な学習の機会となるよう、下記の育児講座の中で開催	下記の通り	—	身近な学習の機会となるよう、下記の育児講座の中で開催	身近な学習の機会となるよう、下記の育児講座の中で開催	下記の通り
3	子育て支援センターゆら育児講座	親子観劇、講演会、応急手当、陶芸教室、ポストカード作りなど、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんで参加できる事業を行う。	保育推進課	保健師、保育士によるミニ講話 訪問型支援 随時 マタニティDAY・赤ちゃんDAY (新型コロナウイルス感染症拡大により延期・中止対応あり)	参加者数 育児講座 (ミニ講話)80人 訪問型支援40件 マタニティDAY20人 赤ちゃんDAY50人	コロナ禍であるが、人数制限や時間差などを利用し、知識の普及や子育て情報の提供、保護者が気分転換が図れるような事業を開催	マタニティDAY 17組32人 赤ちゃんDAY 62組136人 各種育児講座 19組37人 ハンドワーク 8組16人	A	母のニーズに合わせ、普段の育児疲れから気分転換できる講座も取り入れ実施した。また、教室ではグループワークを取り入れ、利用者同士の交流から生まれる、相互作用で心配や不安の軽減が図れるような場を設定を行った	教室(マタニティDAY・赤ちゃんDAY)や講座(応急手当、フラワーアレンジメント、ハンドワーク、制作等)など、地域の親子を対象に子育てに関する情報を提供したり、楽しんで参加できる事業を行う	マタニティDAY 15組30人 赤ちゃんDAY 50組100人 各種育児講座 20組40人 ハンドワーク 15組30人
4	ブックスタート事業	親子の絆とコミュニケーションを深める事を目的に4か月の乳児とその保護者に絵本の入った「ブックスタート・バック」をプレゼントする	図書館	0歳児:75人 3歳児:90人	参加者数 0歳児:75人 3歳児:90人	0歳児:62人 3歳児:76人	参加者数 0歳児:62人 3歳児:76人	B	人口減に伴い、対象人数は減少傾向にあるが、絵本や読み聞かせをとおして親子のふれあいを深めたり、絵本や物語の世界を楽しむことによる子どもたちの心の栄養を育むことを目的に継続する。	0歳児:65人 3歳児:90人	参加者数 0歳児:65人 3歳児:90人
5	家庭教育推進事業	家庭教育に関する知識や基本的な生活習慣の向上をめざした学習機会を提供する。	社会教育課	・生活リズムチェックシートとスタンプシートの実施 ・家庭教育つうしんの発行(毎月) ・子どもの基本的な生活習慣の推進(小学校1日入学での啓発)	回数 1回 6回 6回 (6校)	・生活リズムチェックシートとスタンプシートの実施 ・家庭教育つうしんの発行(毎月) ・子どもの基本的な生活習慣の推進(小学校1日入学での啓発)	回数 1回 6回 6回 (6校)	A	家庭教育推進委員の協議内容から、家庭教育推進のために、多種多様なテーマを生活リズムチェックシートの活用方法の検討	・生活リズムチェックシートとスタンプシートの実施 ・家庭教育つうしんの発行(毎月) ・子どもの基本的な生活習慣の推進(小学校1日入学での啓発)	回数 1回 6回 6回 (6校)
②家庭・学校・地域による家庭教育の推進											
6	子ども読書週間事業	子ども読書週間中に、親子で図書館を楽しむことができる各種イベントを実施し、親子のふれあいと読書の動機付けを図る	図書館	4月下旬から5月上旬に各種イベント等を実施。	参加者数 100人	読み聞かせ会 28人(子ども19人、大人9人) 子ども映画会 3人(子ども2人、大人1人) としよかんクイズ 11人(子ども11人) わくわく広場 5人(子ども3人、保護者2人) ヨムヨム号開放 33人(子ども33人) イベント参加者 80人	80人	B	事業実施時期が連休中であり、市内の各イベントと競合したこともあり、参加者は減少傾向となった。一方で青年会議所の事業に合わせて実施した移動図書館車の臨時運行は、相乗効果により一定の成果があった。	4月下旬から5月上旬に各種イベント等を実施。一部他部署・市内各機関との事業連携を検討する。	事業全体参加者 100人
7	上士別子ども会親子交流事業	スキー教室・親子ふれあいポウリング【卒業を祝うポウリングの集い】など	上士別公民館【スキー教室・体協・上子連共催】	親睦交流会、水泳教室、スキー教室、卒業記念ポウリング大会	参加者数 100人	子ども水泳教室(延19人) スキー教室(延25人) 親睦交流会・ポウリングについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	44人	E	新型コロナウイルス感染拡大により一部の事業を実施することが出来なかった。	親睦交流会、水泳教室、スキー教室、卒業記念ポウリング大会	100人
8	多寄子ども会親子交流事業	夏休みのラジオ体操、町内子ども会のスポーツ交流などを通じて、子ども達の創作意欲の向上と、親子の行事参加と子ども達同士の交流を図る。	多寄公民館【多寄子ども会】	7月親子施設見学会、7～8月ラジオ体操会、8月子ども盆踊り、11月親子料理教室、1月子ども会スポーツ交流会開催予定	参加者数 延べ100人	実施事業 ・子ども会ラジオ体操 17人参加 ・親子視察研修、子ども盆踊り、前期、後期 ・新型コロナウイルス感染拡大防止により中止した事業	17人	E	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事業のほとんどが実施できなかった。	7月、8月親子視察研修、7～8月ラジオ体操会、前期事業(1回)、後期事業(1回)	延べ100人
9	温根別子ども会親子交流事業	親子の交流会の実施:ホウリウ大会(2月)	温根別公民館【温子連】	2月上旬 親子ポウリング大会	参加者数 15人	2/18 親子ポウリング大会	16人	A	子どもと保護者が一緒に体験し、交流することができた。	2月上旬 親子ポウリング大会	参加者数 15人
(2) 学校教育の充実											
①社会に開かれた教育課程の推進											
10	コミュニティ・スクールの導入・運営	保護者や地域住民の意向を学校運営に反映させる学校内の協議会を設置し、「地域とともにある学校」を図る	学校教育課	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会	A	地域によって取組の内容に差異が生じているため、他の地域の活動を共有するなどして活性化を図る	学校運営協議会を設置	設置数 9協議会
11	地域に開かれた学校づくり	学校施設の地域開放、学校行事への参加、地域参観日、学校便りの地域配布など、学校と地域が一体となった活動を展開	学校教育課	学校毎に実施	学校数 11校	学校毎に実施	学校数 11校	A		学校毎に実施	学校数 11校

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(CH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
②教育諸条件の整備・充実											
12	教職員研修	指導力の向上を図るため、士別市教育研究会による教職員相互に研究・啓発を行うと共に、教育課程の指導方法に関する調査研究に対する助成を行う。	学校教育課	3回の一斉研修の実施、陸上記録会・音楽発表会の実施	回数 5回	陸上記録会・音楽発表会と実技講習会は開催したが、班研修は全て中止となった	回数 3回	B	運動する上教研の研修中止に伴い事業の一部が中止されたが、開催方法等を工夫し研修の充実にも努める	3回の一斉研修と実技講習会、陸上記録会・音楽発表会などの実施	回数 6回
(3) 社会教育の充実											
①青少年教育の充実											
13	こども夢トーク	未来を担う子どもたちのアイデアや意見を市政に反映させるため、市内小学校や中学校を対象に、「こども夢トーク」を実施する。	中央公民館	小中学校2校	開催数 2校	・士別中学校 令和4年11月30日 7人 ・多寄小学校 令和5年2月21日 8人	2校	A	・子ども議会との差別化を図るため、市長と直接語ることに重点を置き、ディスカッション形式に変更した。	・士別小学校 ・温根別小学校 ・士別中学校	開催数 3校
14	子ども議会	子どもの自由な発想を生かした意見・要望を市政へ反映させ、市内中学生の「まちづくり」への興味・関心を育むため、「子ども議会」を実施する。	中央公民館	・第11回子ども議会(市内4中学校) ・士別中・士別南中・士別中・朝日中学校 ・子ども議員 6～8人	提言数 8件	・第11回子ども議会 12月21日 子ども議員 計7人(士別中学校3人、士別南中学校2人、士別中学校1人、朝日中学校1人) ・議員報告会 令和5年2月28日	提言数 7件	B	・子どもたちが調査・研究をととして、市政に興味を持ち、自らの資質向上が図られた。感想として自信がついたなど前向きな感想が得られた。	第12回子ども議会(市内4中学校) 6～8人	提言数 8件
15	子ども会リーダー養成	次代を担う子どもたちを地域全体で守り育て、地域子ども会の活性化や子どもたちのネットワーク化を図るため、士子連との連携により、各種リーダー養成事業や交流事業等を実施する。	中央公民館	・士別市子ども会リーダー養成講習会(初級・上級) ・1市2町合同ジュニアリーダー研修会/士別市・剣淵町・和寒町	回数 ・初級3回 ・上級3回 ・1市2町3回	・士別市子ども会リーダー養成講習会(初級・上級) ・1市2町合同ジュニアリーダー研修会(1期、和寒町 士別参加者2人)(2期、3期) ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	回数 初級・上級 0回 1市2町 1回 SINC交流研修会 0回	E	・体験活動を通して、リーダーとして必要な知識・技能を習得し、他町児童との交流を通して資質向上を図ることができた。 ・本市のみならず、少子化等の影響により各市町のリーダー活動が停滞しており、時代の変化に即したリーダー養成事業のあり方の検討が必要。	・士別市子ども会リーダー養成講習会(初級・上級) ・1市2町合同ジュニアリーダー研修会 ・士別市・剣淵町・和寒町 ・子ども会リーダーSINC交流研修会	回数 2回 3回 1回
16	しべつチャレンジスクール実行委員会への支援	通学合宿事業を行い、児童の学習習慣・正しい生活習慣の定着や体力向上、児童交流を図る。	中央公民館【実行委員会】	通学合宿事業1回実施。アンケートの「チャレンジスクール終了後、早寝/早起きができていますか」の設問で「できている」または「少しでもできている」と回答する児童の割合を100%とする。	アンケート割合 100%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—	—	・10月上旬に実施予定	—	回数 1回
17	しべつチャレンジ寺子屋の実施	生活習慣が乱れがちな長期休業期間中に「まちの寺子屋」を開設し、学習習慣の定着を図る。	社会教育課	夏期・冬期休業中に5日間程度実施。教職員・翔鷹高生徒による学習・体力向上活動の支援。規則正しい生活習慣を身につける。	対象学年人数 15% (66人)	夏にはイングリッシュゲーム、ニューススポーツ体験、高校生企画「脱出ゲーム」、冬にはおなか元気教室、高校生企画交流ゲーム、冬の外遊びを行い、児童生徒の生活・学習習慣定着と他者との協働機会を作った。	対象学年人数 59人 内訳 夏34人 冬25人	B	夏期・冬期休業中に4日間程度実施。教職員・翔鷹高生徒による学習・生活習慣定着と、自立する力、協働する力を身につける。	生活習慣が乱れがちな長期休業期間中に「寺子屋」を開設し、学習習慣、生活習慣の定着を図る。	参加者数 対象学年人数 411人うち15% 62人
18	しべつ土曜子ども文化村の実施	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	社会教育課 中央公民館 博物館	職業体験館、文化体験館、ふるさと自然歴史体験館の実施	設置数 3館	職業体験館、文化体験館、ふるさと自然歴史体験館の実施	設置数 3館	A	名称を「士別ふるさと体験広場」に変更し、「ふるさとへの郷土愛」を育む体験活動機会の充実とより参加しやすい制度に変更する。	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をおとして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	事後アンケート 「ふるさと士別」の郷土愛への肯定的意見80%
19	図書館・手づくり絵本教室	手づくり絵本の実作によって、子ども達が本に興味を持ち、読書への動機付けを図る。	図書館	全対象・10人程度	参加者数 10人	開催時期にコロナウイルスの感染が拡大傾向にあり、参加希望者がいなかったことから中止とし、秋の読書週間では絵本の本体のみの作成会に変更し実施した。	3人	E	感染状況の影響もあり、参加が低調となった。絵本を作ることから育まれる、絵本と読書への興味関心を動機づけることを目的に継続する上で、事業実施形態や周知方法などの改善が必要と考えられる。	全年齢対象・10人程度	10人
20	租税教室	市内小中学校を対象にパワーポイントやビデオで具体的な事例により、租税の意義や役割を学習し納税の義務に対する理解を深める。	税務課	小学校3校実施	学校数 3校	R4.6.20 多寄小 R4.6.28 温根別小 R4.7.6 士別小	—	A	市内小学校に対し、租税の意義や役割について具体的な事例を用い伝えることで、理解を深めることができた。	小学校3校実施	3校
②成人教育の充実											
21	まちづくりふれあいトーク	市民参加による開かれた市政の実現をめざして、行政情報の共有化や自治意識の向上を図るため、政策メニューによる講座を開催する	くらし安全課	市民ふれあいトークの見直しを行いながら、希望により各講座を開催する。	参加者数 200人	市民ふれあいトークのメニュー見直しを行った。コロナ禍の影響が軽減され、開催数が増加した。	参加者数 217人	A	継続してメニューの見直しを図る。	市民ふれあいトークの見直しを行いながら、希望により各講座を開催する。	参加者数 200人
22	士別まちづくり塾	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。	社会教育課	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。「まちづくり」に関する肯定的な意見が25%増加を目指す	アンケート割合 25%	市内11人が参加し、士別市の歴史や文化、市内および道内の市民活動について学習と協議など、9回の講義を開催した。	—	—	転勤等で市外に離れる参加者がいたことから、人数が減少した。自主企画まちづくり活動計画・実施に向けて塾生の協議を促す。	本市の将来を担う人材の育成と各分野で活躍する若者の交流と連携を図る。「まちづくり」に関する肯定的な意見が25%増加を目指す	アンケート割合 25%

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
③高齢者教育の充実											
23	高齢者学習推進事業「学び舎 つくも」	「集い・学び・交流」をとおして、高齢者の生きがいをつくりと世代の広い繋がりを構築する。	中央公民館	6月～3月まで基礎講座(北海道学・教養・くらしの各コース10回ずつ)計30回を実施予定。	登録者数 80人	・基礎講座3コース(北海道学・教養・くらし)を各9講座、計27講座実施。 ・自主企画活動は3団体(コース、スマホ教室、つくも親睦会)が活動。	登録者数 77人	A	・登録者へのアンケート結果から、各講座に対する評価は比較的高く、対象者のニーズに沿った事業を展開できたと推察する。 ・座学形式の基礎講座が多くなってしまったため、体験型の比率を増やす必要があると考える。	体験型講座の比率を増やして、講座内容を編成する。	登録者数 80人
24	公民館講座「高齢者教室」	自らが積極的に健康と生き甲斐を求め、学習意欲を持った高齢者の育成のため、学習機会の提供を行う。	朝日公民館	60歳以上の朝日地区の市民・年間4講座(5月～2月毎月1回)「趣味・生活・社会、軽スポーツ等」毎月1回の学び舎つくもへの参加 7回(7月～1月)	参加者数 150人	60歳以上の朝日地区の市民を対象に「あさひクラブ」として年間4講座実施(6/22、8/31、9/12、2/20)。「学び舎つくも」への参加0回	29人	E	「あさひクラブ」への登録者が前年よりも減少(21人→12人)したことから、目標値を大きく下回る結果となった。また、「学び舎つくも」への参加について、送迎を含め参加の呼びかけを積極的に行っていく必要がある。	60歳以上の朝日地区の市民を対象とし、年間4講座と学び舎つくもへの参加7回の計11回を実施する(6月～2月毎月1回)	参加者数 150人
④学校教育と社会教育との連携の推進											
25	総合型スポーツクラブ 学校部活動交流事業	学校部活動とスポーツ少年団体との共通した講演会などを開催し、今後の学社融合の基盤づくりにおける切り口とする	総合体育館【総合型クラブ】	日程未定で「勝ち弁レンビ(調理実習会)」講師：小松信隆氏を開催予定。	—	新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。	—	—	—	実践スポーツ栄養学を開催する。講師：小松信隆氏を予定。	—
⑤道民カレッジの連携推進											
26	道民カレッジの連携推進	各種講座を「道民カレッジ」の連携講座に申請し、市民の学習活動を単位認定することによって、市民の学習活動を助長する。	社会教育課	これまでの連携講座に代わり、市町村が実施した講座、講演会などへの参加実績を単位認定することによって、市としての運用方法について検討する。	講座数 50件	連携講座の制度が廃止され、カレッジ生が自主的に手帳に受講した講座を記入することになったため、道民カレッジの連携推進にあたっての講座数は把握できなくなった。	—	—	道民カレッジの連携する手段がないことから、本項目は令和4年度をもって廃止とする。	—	—
2. 多様な学習機会の提供											
(1) 地域課題に対応した学習活動の推進											
①地域課題に対する学習活動の推進											
27	男女共同参画・地域づくりセミナー	男女共同参画の視点からまちづくりの方策を見出し、地域振興に寄与するためのセミナーの開催	企画課	・男女共同参画週間などデジタルサイネージで周知、啓発 ・広報への記事掲載 ・セミナーの開催	回数 8回	・男女共同参画週間にあわせてデジタルサイネージで周知、啓発 ・広報への記事掲載 ・セミナーの開催	5回	D	広報やデジタルサイネージなどを活用し、市民に広く啓発を行う。	・男女共同参画週間などデジタルサイネージを活用した周知、啓発 ・広報への記事掲載	啓発回数 5回
28	消費者教育の推進・啓発活動	消費生活に関する自発的な学習を支援する条件整備と併せ、必要な情報を提供し、市民の自主的な組織活動を促進する	くらし安全課	各種講座の開催	講座数 50	消費者教育プログラムに基づき、小中高校等における消費者教育及び老人クラブ出前講座を実施した。 新型コロナウイルスの影響が昨年より軽減され、開催数が増加した。	68回	A	老人クラブ等での出前講座や学校での消費者教育をとおして、消費者被害未然防止に寄与した。	各種講座の開催。	講座数 50回
29	市民手話講習会	広く一般市民と共に手話を学び、聴覚障がい者に対する理解と協力を図る	福祉課	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止から、開催について検討中	—	11月2日～11月18日までの期間で計6回実施(毎週 水・金曜日 午後7時～午後8時)	参加者数 10人	—	広報・SNSを活用し広く市民周知を行う。	言語である手話を普及することにより、聴覚に障がいがある方への理解も深める。	参加者15人
30	災害に強い地域づくり研修会	水害・雪害等の災害時の具体的な対応等について話を聞き、普段から地域でできることは何かを皆で考える機会とする	福祉課【社会福祉協議会】	年1回実施予定	参加者数 50人	「冬の災害に備えた地域の支え合い」と題して、札幌市から講師を招き、講演会を実施した。 開催日：2月12日	参加者数 44人	B	コロナ禍のなかであったが、各自治会の防災に関する意識を共有することができ、防災の意識を高めることができた。	年1回実施予定	参加者50人
31	地域資源を活用した学校教育の推進	地域を愛する心豊かな子どもたちを育てるため、地域の力を学校教育に活用する。	学校教育課	小学校全校で農業学習を実施	学校数 6校	市内全ての学校で農業学習を実施した	学校数 6校	A	—	小学校全校で農業学習を実施	学校数 6校
32	農業講演会の開催	農業者を対象に講演会を開催し経営の向上を図る	農業振興課	講演会開催予定	参加者数 50	令和5年3月6日開催	参加者数 22	E	近年の干ばつによる自然災害の発生など、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに対応する必要があるため、収入保険制度に関する学習機会の場を設けることにより、農業経営の活性化が図られた。 次年度に向けては、参加者数が目標値を大きく下回ったことから、効率的な周知方法の検討を行う。	農業講演会の開催	参加者数 50
33	酪農経営講習会	酪農家を対象に酪農技術及び乳質等の向上を目指すための研修会の開催	畜産林務課【士別市酪農組合連合会(事務局：市)】	R5.2実施予定	参加者数 30	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止	—	—	—	R6.2実施予定	参加者数 30
34	市民公開講座の開催	地域医療の充実の一助として講演会形式を主に実施	市立病院 経営管理部	新型コロナウイルス感染症の感染対策から、開催手法について検討必要 ※目標設定はこれまでの形式で市民公開講座を開催したとする仮定	参加者数 120人/回	新型コロナウイルス感染症の感染状況等から開催は困難と判断した	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の5類移行により、コロナ過前の方法による開催を検討	参加者数 120人/回

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
35	防災講座	防災・減災に対する意識の高揚と知識の向上を図るため、総合防災訓練を実施するなかで、避難所開設や避難所運営、講演会等開催する。	総務課	1 総合防災訓練 大雨洪水の想定による住民参加型の避難訓練(地域は、別途調整) 2 防災講話 自分の命は自分で守る「自助」と地域の人は地域で守る「共助」の意識を持たせるような教育を実施	参加者数 約50人	1 総合防災訓練 てしおがわ土地改良区と連携し、武徳ため池の越水を想定した避難訓練を実施 2 防災講話 南小学校、上士別小学校の1日防災学校にて講話を実施 多寄小・温根別小(4年生)社会見学時防災講話を実施	1 総合防災訓練 (1)住民参加 55人 (2)関係機関 19人 (3)市職員 22人 2 防災講話 約100人	A	1 総合防災訓練 土地改良区との連携を確認することができた。また今まで避難訓練を実施したことのない地区(武徳等)の市民の避難行動を確認できた。 2 防災講話 被災者の年齢に応じた資料を作成し、わかりやすく講話を実施した。	1 総合防災訓練(水防研修会) 自治会の役員を対象に、体験器材により水害の恐ろしさを認識して、マタイムラインを作成 2 防災講話 ニーズに合わせた講話内容にして防災意識の向上に資する。	1 水防研修会 約20人 2 防災講話 約100人
36	地域担当職員制度	行政全体での生涯学習を推進していくために、現状の組織体制のあり方と様々な事業内容の再点検を行い、より能動的な組織へと転換する	くらし安全課	・高齢者実態把握調査の実施(75歳以上高齢者世帯) ・地域政策懇談会の開催 ・地域要望への対応	—	・高齢者実態把握調査の実施(75歳以上高齢者世帯) ・地域政策懇談会の開催 ・地域要望への対応	—	—	地域政策懇談会の開催については、各自治会の協議し、新型コロナウイルスの影響もあり実施に至らなかった。	・高齢者実態把握調査の実施(75歳以上高齢者世帯) ・地域要望への対応	—
②ボランティア活動の推進											
37	福祉課・士別市中学生・高校生ワークショップ	社会福祉への理解と関心を高め、ボランティア活動に取り組むきっかけの場となることを目的とする	福祉課【社会福祉協議会】	年1回実施予定	参加者数 10人	コロナ禍で規模を半日日程に縮小した。縮小したことで、「ワークキャンプ」を「ワークスクール」と名称を変更した。(コロナ禍であったため)地域活動支援センター「ほっと」から障がいのある方を招き、障がいのある方の体験等から意見交換を行った。	参加者数 27人	A	障がいのある方と、中学生及び高校生の意見交換が実施して、お互いの理解が深まった。	年1回実施予定	参加者数10人
(2)生涯スポーツと健康づくりの推進											
①生涯スポーツの普及											
38	総合型スポーツクラブ指導者養成講習会	全国的に著名な大学教授や総合型先進地の講師を招聘し、講演会などを開催する	総合体育館【総合型クラブ】	日程未定で「実践型スポーツ栄誉学」講師：小松信隆氏を開催予定。	—	実践型スポーツ栄誉学、バルシューレの講座を実施し、科学的根拠に基づいた効果的なトレーニングの知見が広がった。	参加者数 49人	—	事業を継続し、事業目的の達成を図る。より多くの指導者・保護者の参加。	バルシューレ、部活動改革に係る研修会を開催する。	—
39	スポーツクラブ ジュニアスポーツクラブ	スポーツを通じて学校の枠を越えた友達づくりを目的に軽スポーツ、文化活動の実践(なんでもスポーツクラブ)	総合体育館【スポーツクラブ】	5月～2月で計16回実施予定。	—	全16回開催。ポッチャやサッカー、バレーボールなど様々なスポーツを通して、運動の楽しさを伝えることや仲間をつくる機会を創出できた。	参加者数 292人	—	事業を継続し、事業目的の達成を図る。子どもの運動能力の向上。	5月～2月で計16回実施予定。	—
40	オリンピックデーラン士別大会の開催	オリンピックデーランを記念して、JOCと共催で開催幼児から高齢者までオリンピックと一緒にウォーキング・ジョギング、またサイ大会や記録挑戦会などによってスポーツの楽しさを促す。	合宿の里・スポーツ推進課【実行委員会】	第30回オリンピックデーラン士別大会を9月4日に開催予定。	参加者数 市の人口の5%	9月3日スポーツ教室、9月4日オリンピックデーラン開催。オリンピックやパラリンピアンとの交流や様々なスポーツをとおして、スポーツの楽しさや面白さなどを知ってもらえる機会を提供できた。	参加者数 315人	E	スポーツの持つ価値を多くの方々に知ってもらうため、地域にあったイベントの企画運営を行うこと。	これまでのJOC主催のオリンピックデーランではなく、発展的に実行委員会を編成し、新たな形でオリンピック・ムーブメントを推進する。(オリンピックデーランではないオリパラムーブメント事業を行う)	参加者数 500人
41	サフォークランド士別ハーフマラソン大会の開催	国内のトップランナーを招待選手に迎え、ハーフ・10km・5km・2kmの距離で競技する	合宿の里・スポーツ推進課【実行委員会】	第35回サフォークランド士別ハーフマラソン大会を7月24日に開催予定。	参加者数 市人口の10%	7月24日開催。感染対策により市民、参加者、関係機関に負担を掛けることになったが、理解と協力により開催できた。コロナ前の2019大会を上回る参加があり、走る喜びを感じてもらえる大会となった。	参加者数 1,726人	A	参加者の拡大。より多くの市民に参加してもらうこと。	スタート時間の変更、5km種目の復活、ハーフマラソンコースの一部を変更する。また、ハーフマラソンの制限時間を拡大し、参加しやすい大会とする。	参加者数 1,800人
42	市民クロスカントリー大会	市民ぐるみによる健康づくりと生涯スポーツの推進を図る	合宿の里・スポーツ推進課	第40回市民クロスカントリー大会を9月17日に開催予定。	参加者数 204人	9月17日開催。市民の運動機会や多世代間の交流機会を提供することができた。	参加者数 149人	C	高校生以上の参加者の拡大。	9月10日開催予定。	参加者数 200人
43	士別中央スポーツクラブの育成	中央地区の各種スポーツ振興事業を企画及び実施。なんでもスポーツクラブ・ジュニア団体育成事業、スポーツ教室、指導者研修会等	総合体育館	クラブ運営事業、スクール部会事業他を実施予定。	—	ジュニア団体事業、サークル活動、健康・体力づくりサポート事業、指導者研修事業、スポーツ教室開催事業、学校部活動セミナー	参加者数 延べ1,196人	—	事業を継続し、事業目的の達成を図る。	ジュニア団体事業、サークル活動、健康・体力づくりサポート事業、指導者研修事業、スポーツ教室開催事業、学校部活動セミナー	—
44	士別町民スポーツ交流事業	町民の健康増進・地域交流を図る。	上士別公民館【体協クラブ】	6/19第66回上士別町民体育の集い(中止)(第3日曜日)	参加者数 200人	新型コロナ感染拡大防止のため中止した。	—	—	—	6/18第66回上士別町民体育の集い(第3日曜日)	参加者数 200人
45	上士別町民冬季スポーツの集い	屋内スポーツを通じて体力増進・地域交流を深める	上士別公民館【スポーツクラブ】	1/22冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人	新型コロナ感染拡大防止のため中止した。	—	—	—	1/28冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人
46	上士別スポーツクラブの育成	上士別地区市民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館上士別公民館【総合型クラブ】	6月 春季パークゴルフ大会 6/19第66回上士別町民体育の集い	参加者数 220人	6/19春季パークゴルフ大会(14人) 6/19第66回上士別町民体育の集い(中止)	参加者数 14人	C	新型コロナ感染拡大により一部の事業を実施することが出来なかった。	6/4 春季パークゴルフ大会 6/18第66回上士別町民体育の集い	参加者数 220人
47	多寄スポーツクラブの育成	全道で最初のスポーツクラブとして設立した総合型地域スポーツクラブ多寄地区住民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館、多寄公民館【総合型クラブ】	5月チャレンジデー参加、11月町民健康教室、3月スノーランタンインによる開催の他、公民館や子ども会など地域の各団体との協力による事業開催	—	町民パークゴルフ交流会、スノーランタンインによる、モルック・ポッチャスタッフ研修会、モルック体験会、モルック体験会	参加者数 延べ136人	—	事業を継続し、事業目的の達成を図る。	エスコンフィールド視察、町民パークゴルフ交流会、町民健康教室、町民ミニバレー大会、町民卓球大会、多寄地区子ども交流会、スノーランタンインの集い、町民スキー大会、スポーツウェルネス吹き矢体験会	—

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画 (PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績 (DO)	実績値	達成評価 (HE OK)	成果・改善策など (ACTION)	令和5(2023)年度計画 (PLAN)	目標(指標)値
48	温根別スポーツクラブの育成	温根別地区市民のために各種スポーツ振興事業の企画及び実施	総合体育館、温根別公民館【総合型クラブ】	運動会、パークゴルフ大会ほか予定	—	温根別大運動会、チャレンジデー、P.G大会、子供会野外体験研修、スポーツクラブ会長杯P.G大会、町民ゲートボール大会、卓球教室、町民卓球大会、子どもスキー教室、親子ポーリング大会	参加者数 延べ192人	—	事業を継続し、事業目的の達成を図る。	温根別大運動会、P.G大会、子供会野外体験研修、温根別ウォーキング大会、スポーツクラブ会長杯P.G大会、町民ゲートボール大会、卓球教室、町民卓球大会、子どもスキー教室、親子ポーリング大会、スキー会遠征	—
49	チャレンジデーの実施	日常的なスポーツの習慣化や住民の健康増進、地域の活性化に向けたきょうかけづくりを目的とした住民総参加型のスポーツイベントの実施	合宿の里・スポーツ推進課	新型コロナウイルス感染症感染対策を行うなかで、ラジオ体操・ポッチャ体験などの集団プログラムを再開するとともに、スポーツ施設の無料開放を行い運動機会を創出する。	参加者数 8,308人	5月25日開催。各団体の協力によりポッチャ大会やウォーキングなどのイベントを実施するなど運動参加へのきょうかけづくりに取り組んだ。	参加者数 5,336人	D	チャレンジデーの参加によって、市民の運動への意識を高めるきっかけになったものの、当初の目的である運動習慣の定着を重点においた取組に変更する。(チャレンジデーには参加しない)		
②健康づくり学習の推進											
50	食育の推進	食の大切さの理解を深め、心身の健康と豊かな人間性を育むための「士別市食育推進計画」に基づき、関連事業を実施する。	保健福祉センター	市内イベントへのブース出展により、食育の大切さや食育推進計画について、市民に周知・普及する。	参加者数 100人	R4.11.12(土)に消費生活来場者にしっかり野菜349gレシピについて周知した。	参加者数 190人	A	来場者にレシピを配布し、取組について認知度を高める機会となった。	市内イベントへのブース出展や出前講座により、食育の大切さや食育推進計画について、市民に周知・普及する。	100人
51	サフォークジム (R2年度から出張所サフォークジムへ事業名変更)	介護予防や認知症予防に関する知識と技術を学びながら、元気な体づくりを推進している	いきいき健康センター	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施。	回数 144回	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施	回数 140回	A	介護予防、認知症予防を目的とした運動と頭の体操を実施した。今後は参加者増加のため効果的な方法を検討していく。	出張所(多寄、温根別、上士別、朝日)で、各地区月3回実施	回数 144回
52	いきいきサロン事業	心身の介護予防や閉じこもり予防のため、交流・学習の機会を通して地域とのつながりを持ち、高齢になっても自分らしく、生きがいを持って生活ができるよう、市民の集まる場(居場所)を提供する	いきいき健康センター	中央地区週5日、朝日地区週1日開催し、講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施する。	回数 241日 580回	中央地区週5日、朝日地区週1日開催し、講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施した。	回数 238日 566回	A	コロナの感染防止対策をしたうえで、人との交流や介護予防のための場を提供した。外出控えやその間の体力の低下等により参加者が減っているため、多くの方に参加していただけるよう周知活動を考えたい。	中央地区週5日、朝日地区週1日開催し、講話、心身の介護予防の運動、手作業などを実施する。	回数 244日 592回
53	いきいき健康センター 介護予防事業(いきいきクラブ)	早期から、運動による介護予防と脳活動の活性化による認知症予防を一体化して取り組む事で、楽しみながら自らの健康づくりを図る。	いきいき健康センター	前期1教室、後期1教室開催。1教室全20回。	回数 40回	前期1教室、後期1教室開催	回数 40回	A	介護予防、認知症予防の知識、運動習慣を身につける事ができた。コロナの影響により参加者が減少傾向にあるため、広報や新聞、施設利用者の知人の紹介など周知活動を行い、多くの市民に参加していただけるよう取り組んでいく。	前期1教室、後期1教室開催。1教室全20回。	回数 40回
54	上士別町民スポーツ交流事業	フォークダンス教室・パークゴルフ交流会と大会・歩くスキー教室・ゲートボール・卓球などにより、町民の健康増進と交流を図る。	上士別公民館	6/19第66回上士別町民体育の集い(第3日曜日)	参加者数 200人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	—	—		6/18第66回上士別町民体育の集い(第3日曜日)	参加者数 200人
55	上士別町民冬季スポーツの集い	屋内スポーツを通じて体力増進・地域交流を深める	上士別公民館【スポーツクラブ】	1/22冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	—	—		1/28冬季スポーツの集い(第4日曜日)	参加者数 40人
56	多寄町民スポーツ交流事業	パークゴルフ大会・スキー大会などにより、町民の健康増進と交流を図る。	多寄公民館【多寄パークゴルフ協会ほか】	7月下旬町民PG大会、8月上旬交通防犯PG大会、1月町民スキー教室、2月町民スキー大会	参加者数 200人	実施事業・パークゴルフ大会(町民・防犯)、町民スキー教室 新型コロナウイルス感染症対策により中止した事業・町民スキー大会	参加者数 156人	C	市民の交流とスポーツの推進、健康増進という目的を達成することができた。	7月下旬町民PG大会、8月上旬交通防犯PG大会、1月町民スキー教室、2月町民スキー大会	参加者数 200人
57	多寄地区合同運動会	競技を通し、地域住民の交流と親睦を図る。	多寄公民館【多寄町体育協会・多寄小学校・多寄保育園】	6月中旬多寄地区合同運動会	参加者数 200人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。	—	—		6/11多寄地区合同運動会	—
58	温根別町民スポーツ交流事業	卓球教室・ゲートボール大会・スキー大会・卓球大会・PG大会などにより、町民の健康増進と交流を図る。	温根別町公民館【温根別クラブと共催】	7/26 パークゴルフ大会 9月下旬 町民ゲートボール大会 12月上旬 卓球教室 1月上旬 子どもスキー教室	参加者数 15人 15人 20人 12人	7/26 公民館長杯兼神社祭典委員長杯PG大会 9/28 町民ゲートボール大会 11/29 卓球教室 12/4 町民卓球大会 1/5 スキー教室	参加者数 12人 16人 7人 15人 9人	B	パークゴルフ・卓球・スキー教室で、農作業や葬儀、体調不良などにより、当日に当たっての欠席者が多かったが、概ね参加者も集まり、健康増進と交流という目標を達成することができた。	7/26 パークゴルフ大会 9月下旬 町民ゲートボール大会 12月上旬 卓球大会 1月上旬 子どもスキー教室	参加者数 15人 15人 15人 12人
59	温根別町民体育大会	自治会単位のチーム編成で開催	温根別公民館【温根別クラブ主催】	6/18 温根別町民大運動会	参加者数 100人	6/18 温根別町民大運動会(コロナにより、住民参加は中止、小学生のみ参加)	—	—		6/17 温根別町民大運動会	参加者数 100人
60	体力づくり推進事業	スポーツの生活化を図る	地域教育課(合宿の里・スポーツ推進課 朝日)	水泳教室(8月上旬の3日間) 基礎スキー教室(1月下旬～2月中旬のうち6日間) 宣言タイムマラソン(10月)	参加者数 水泳教室 70人 スキー教室 100人 宣言タイムマラソン 40人	水泳教室(8月4日、5日) 基礎スキー教室(12月27日、29日、1月6日、10日、13日、18日) 宣言タイムマラソン(10月22日)	参加者数 18人 67人 36人	E	スキー教室については上士別地区との合同開催として実施したが、朝日地区からの参加者が前年度を下回ったため実績値が減った。スキー技術習得のきっかけ作りとして有意義な事業であるので、幅広い世代からより多くの住民に参加してもらえるよう周知等の工夫が必要と考える。	水泳教室(8月上旬の2日間) 基礎スキー教室(12月～1月の冬休み期間) 宣言タイムマラソン(10月)	参加者数 水泳教室 50人 スキー教室 80人 宣言タイムマラソン 40人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
61	朝日町体育協会主催事業助成	スポーツへの参加意欲と連帯感の高揚を図る	地域教育課(合宿の里・スポーツ推進課・朝日体育協会)	体育まつり 300人 町民駅伝(9月) 40人 冬季スポーツ(3月) 300人	参加者数 体育まつり 300人 町民駅伝 40人 冬季スポーツ300人	体育まつり コロナにより中止 町民駅伝(9月) 35人 町民冬季スポーツ大会 コロナにより中止	参加者数 35人	—	日常生活における運動習慣を定着させ、市民の健康が高まること。	体育まつり 160人 町民駅伝(9月) 40人 冬季スポーツ(3月) 100人	参加者数 300人
62	健康づくり講演会	生活習慣病対策として健康づくり講演会を開催し、市民の健康づくりを推進する。	保健福祉センター	士別市健康アドバイザーの日本医療大学総長 島本和明氏による講演会を実施する。	参加者数 100人	R4.8.30(火)に「血圧管理で脳心腎・認知症を守ろう～心臓病治療の最新情報～」をテーマに講演会を実施。	参加者数 89人	B	市民に高血圧・の危険性や血圧管理の重要性を理解してもらう機会となった。	健康づくり講演会はR4年度まで実施となっていたため、R5年度は実施予定無し。	—
(3) 芸術文化・郷土学習の推進と交流活動による理解拡大											
① 芸術文化活動の推進											
63	文化創作活動補助事業	各種団体が行う文化関係事業に対し事業補助金を交付し、市民の自主的な文化活動を支援する	社会教育課	対象文化団体に対し、補助金を交付	件数 3件		件数 1件	E		対象文化団体に対し、補助金を交付	件数 3件
64	子ども芸術劇場	芸術鑑賞を通して小中学生の情操の涵養を図る	地域文化課	学校支援舞台芸術WS実施(ダンス・和太鼓など) 学校芸術鑑賞公演実施(民族音楽・声楽コンサートなど)	参加者数 1,200人	学校支援舞台芸術WS実施(ダンス・和太鼓など) 66コマ延1,907人	1907人	A	学校へのアウトリーチや芸術鑑賞、各種WSを通して小中学生の情操の涵養を図る	学校支援舞台芸術WS実施(ダンス・和太鼓など) 学校芸術鑑賞公演実施(民族音楽・声楽コンサートなど)	参加者数 1,200人
65	生涯学習フェスティバルの開催	いぶきが芸術・文化・交流などさまざまな活動の拠点として、市民参加のイベントを開催し人づくり・まちづくり活動を推進する	生涯学習情報センター	創作作品の展示の他、感染症対策を勘案した上で実施可能と判断できる芸術発表等のイベントを計画する。	参加者数 350人	コロナウイルス感染拡大予防のため、芸術発表及びお茶会、陶芸等の体験教室については中止し、作品展示及び20周年写真パネル展のみを実施。 7月1日～7月28日まで 作品展示数120点	320人	A	芸術発表・各種体験会を中止したものの、事業開始20周年を記念しての写真パネル展や文化協会加盟団体への展示へは一定の来場者があった。次年度は、体験・発表の場を再開できるよう計画する。	感染症対策適切に行った上で、本来の開催主旨である参加・体験型の開催を計画し、市内の文化芸術発表の場としての継続と発展を図る。	来場者 350人
66	市民総合文化祭	市民の文化・芸術の総合発表	中央公民館	10月下旬～11月3日開催予定	参加者数 3,600人	・作品展示 令和4年10月29日～11月3日 27団体4個人673点 ・芸術発表 令和4年11月3日 19団体1個人 土教研と翔雲高校の協力を得て児童生徒作品展示をいぶきにて実施、併せて土曜子ども文化村にて制作した絵画を展示した。 ・小学生135名 中学生48名 高校生38名 文化村12点 合計233点	作品展 1,500人 芸術発表 500人	E	・コロナの影響から参加団体は少なかったが、文化芸術の発表機会の創出及び活動の推進が図られた。 ・参加団体の固定化・高齢化が課題。	・実行委員会形式での開催とし、士別市文化協会、士別市教育研究会と連携しながら、令和5年11月(文化の日)に開催する。	作品展 1,500人 芸術発表 500人
67	上士別地区文化祭	文化祭を通じて地域の文化を見つめると共に地域交流を深める	上士別公民館【実行委員会共催】	11/1作品展示会・お茶会 11/3芸術発表会	参加者数 300人	11/3作品展示会を実施、併せてお茶会と体験コーナーを実施した。 芸術発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	参加者数 125人	E	展示会等を通じて地域交流や文化の振興を図ることができた。	11/1作品展示会・お茶会 11/3芸術発表会	参加者数 300人
68	多寄町文化祭	多寄町民による文化活動発表の場	多寄公民館【文化祭実行委員会】	10月、11月開催予定	参加者数 350人	11月3日、作品展示会・芸術発表会・お茶会開催 作品展示数 108点 入場者数 177人(うち50人お茶会来場者)	参加者数 177人	E	3年ぶりの開催となり過去は2日間日程で開催していたが、今年度は作品展示会・芸術発表会・お茶会を1日日程で開催した。	11月開催予定	参加者数 200人
69	『文集たよろ』の発行	年1回発行	多寄公民館【文集たよろの会】	3月に発行予定	発行回数 1回	第41号を令和5年3月に発刊 80部作成	発行回数 1回	A	会員の減少、文集の売り上げの減少等会計状況が悪化しているため、経費のかからない方法を考える必要がある。	3月に発行予定	発行回数 1回
70	士別市総合文化祭温根別会場	地域住民の芸術発表、作品展示、お茶会など体験コーナーの開催	温根別公民館	10月下旬 総合文化祭	参加者数 150人	10/31～11/4 作品展示とビックリカボチャの重量当てるのみ温根別出張所体育館を会場として開催し、芸術発表は中止。	参加者数 59人	E	作品展示等を通じて地域交流や文化の振興を図ることができた。	10/28 総合文化祭	参加者数 150人
71	朝日地区町民文化祭	地域住民の作品展示、文化活動の発表への支援	朝日公民館	作品展示会、芸術発表会他(11月)	参加者数 1,000人	11月5日(土)～6日(日)開催 ・作品展示 延170人、583点 ・芸術発表出演者 延55人 ・お茶会 76人 ・来場者 延218人	参加者数 519人	E	例年から開催日を変更して実施したこともあり、前年から参加者数が減となったが、地域住民の文化芸術活動発表の場と文化芸術に触れる機会を提供でき、自ら文化活動を行うきっかけづくりにもなった。	作品展示、芸術発表他	参加者数 800人
72	サンライズホール自主企画事業(鑑賞型事業)	優れた舞台を身近に観る機会の提供	地域文化課	【鑑賞型事業】音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演、演劇鑑賞ツアー※事業は指定管理者の舞臺に移管する	参加者数 1,400人	【鑑賞型事業】音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演6公演実施(1公演が新型コロナウイルス感染拡大のため中止)延575人	参加者数 575人	E	優れた舞台を身近に観ることで、市民の多様なニーズに対応するとともに、新たな文化活動の創出を助長させている。	【鑑賞型事業】音楽、演劇、芸能等プロアーティストの公演※事業は指定管理者の舞臺に移管する	参加者数 1,400人
73	サンライズホール自主企画事業(参加型事業)	新たな地域コミュニティの形成や自発的な芸術創造を目的とする機会の提供	地域文化課	【創造型事業】『芝居で遊ばしよ』VOL.20』『学校と子どもと芝居VOL.9』制作、各種一般向けワークショップ、レジデンツ事業(滞在型：鬼太鼓座)※事業は指定管理者の舞臺に移管する	参加者数 600人	【創造型事業】『芝居で遊ばしよ』VOL.20 延379人『学校と子どもと芝居VOL.9』制作 延25人	参加者数 404人	D	演劇を中心とした事業展開を行い、結果として幅広い年代・地域の参加者が着実に増え、新たな文化活動の創出を助長させている。	【創造型事業】『芝居で遊ばしよ』VOL.21』『学校と子どもと芝居VOL.10』制作、各種一般向けワークショップ、レジデンツ事業(滞在型：鬼太鼓座)※事業は指定管理者の舞臺に移管する	参加者数 600人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/E/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
②郷土学習の推進											
74	博物館・郷土の歴史や風土に関する学習機会の拡充	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む士別地域の自然学習機会の提供	博物館	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む士別地域の自然学習機会の提供	主催講座年間24回 出前講座年間24回 (それぞれ月2回程度を想定)	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む士別地域の自然学習機会の提供	主催講座：27回 出前講座：17回	A	主催講座は、予定していたものに加え、他団体との連携によるもの新たに実施することができた。 出前講座の実施回数は目標値を下回ったが、市内小中学校のほか新規の依頼があったことなど一定の成果があった。	教育普及活動の一環として郷土史及び風土を含む士別地域の自然学習機会の提供	主催講座年間24回 出前講座年間24回 (それぞれ月2回程度を想定)
③友好都市や国際交流の促進											
75	高校生短期留学事業	国際感覚や異文化交流を体得・体験するとともに、語学力の向上をめざし、本市高校生のゴルフバーン市派遣とGB市からの受け入れを行う。	企画課【各関係団体等】	GMCへの高校生短期留学派遣については中止決定済み、翌年度以降の実施を検討 オンライン等での交流を検討	—	GMCへの高校生短期留学派遣について、中止決定済み。 次年度の再開に向けGMC側と協議。	—	—	今後の実施体制に関し、士別翔雲高校と協議を行う。	GMCへの高校生短期留学派遣事業を実施 高校生4人、引率1人	—
76	国際交流の推進	地域の国際化と市民の国際交流に対する意識の啓発を目的とした講演会などの開催	企画課	実施主体の国際交流協会での事業が終了となるため、別の方法での国際交流の推進を検討 ※国際交流協会解散済み	—	・GMCへの高校生短期留学派遣と運動した事業の実施について検討。 ・庁舎前花壇へコーレバーンローズを植栽。	—	—	高校生短期留学派遣実施後の報告会実施を検討。	高校生短期留学派遣実施後の報告会実施を予定。 庁舎前花壇へコーレバーンローズの植栽を予定。	—
77	人材育成事業	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・交流促進のために補助を行う。	企画課	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・文化振興・交流促進のために補助を行う。	件数 2件	・YOYOKA SUMMER LIVE IN SUNRISEHALL ・サフォーク研究会40周年まかひの牧場交流事業 ・みよし市少年サッカー交流事業 ・令和4年度友好都市少年野球交流(派遣)事業	件数 4件	A	制度の周知を進めるとともに、団体からの相談等に適切に対応する。	ふるさと創生基金を運用し、人材育成・文化振興・交流促進のために補助を行う。	件数 4件
78	みよし市市民交流推進事業	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・交流推進事業の活用)	企画課【各関係団体等】	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・文化振興事業の活用)	件数 1件	・士別市議員派遣研修(8月2日～4日) みよし市議会5人 ・士別市産業フェア(8月27日～29日) 小山市長ほか7人 ・みよし市産業フェスタ(11月5日～7日) 渡辺市長ほか10人 ・みよし市派遣交流事業(1月10日～13日) 士別市小学生12人、引率者4人 ・士別の野球少年団(3月25日～27日) 選手13人と引率者8人がみよし市訪問 ・士別のサッカー少年団(3月25日～28日) 選手7人と引率者3人がみよし市訪問 ・友好都市小学生スポーツ交流事業(3月27日～29日) みよし市から選手16人と引率者6人が士別市来市	件数 7件	A	制度の周知を進めるとともに、団体からの相談等に適切に対応する。また、今後も引き続き多く交流が実現できるような事業を遂行していく。	友好都市であるみよし市と文化・スポーツ等の分野で、多世代にわたった市民交流を推進する(人材育成・文化振興事業の活用)	件数 4件
1. 学習情報提供・相談体制の充実											
(1) 学習情報提供機能の充実											
①学習情報の収集、提供の一元化											
79	広報しべつ「生涯学習情報」のページの充実	生涯学習情報の収集と、タイムリーな発信を行い、市民が学習しやすい環境を整備する。	社会教育課	各種学習情報の掲載及び情報提供	回数 12回	各種学習情報の掲載及び情報提供	回数 12回	A		各種学習情報の掲載及び情報提供	回数 12回
80	生涯学習パンフレットの発行	市民や転入者に対して啓発パンフレットを作成し、配布する。	社会教育課		回数 1回	更新なし	回数 0回	E	各社会教育施設の情報を更新しながら、市民や転入者が気軽に生涯学習に取り組めるよう、情報発信を行う。 市HP更新に伴い、パンフレットの内容を更新予定	生涯学習ガイドの更新、発行	回数 1回
②学習情報のネットワーク化											
81	社会教育施設の相互申込み体制づくり	文化センター、生涯学習情報センターの使用申請書を統一するとともに、使用登録団体の情報を共有する。	文化センター 生涯学習情報センター サンライズホール	文化センター、生涯学習情報センター、サンライズホールの各使用登録団体の情報を共有する。	—	生涯学習情報センター登録団体 28団体	—	—	使用申請書の統一及び使用登録団体の情報共有により、各施設の利用者の利便性の向上に努めた。	文化センター、生涯学習情報センター、サンライズホールの各使用登録団体の情報を共有する。団体登録を広く活用できるよう周知する。	—
(2) 学習相談機能の充実											
①学習相談窓口の充実											
82	生涯学習インストラクターの配置	生涯学習の指導・相談機能の充実のために各課に配置	社会教育課	インストラクターを配置	人数 40人	インストラクター39人を配置した	人数 39人	A	適切な配置を検討する。	インストラクターを配置	人数 40人
②学習指導者の研修の充実											
83	生涯学習インストラクターの活用	生涯学習の指導・相談機能の拡大	社会教育課	研修会の開催	回数 1回	開催なし	回数 0回	E	庁内システムガールーンを活用した情報共有を行う。	研修会の開催	回数 1回

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
2. 学習施設・設備の充実											
(1) 学習施設の充実											
①社会教育施設等の整備・充実											
84	施設の情報通信化	公共施設に無料通信Wi-Fiを設置し、学習環境を充実させる。	社会教育課	公共施設に無料通信Wi-Fiを設置し、学習環境を充実させる。	設置数 10施設	市役所庁舎、生涯学習情報センター いぶき、士別市民文化センター、あさひサンライズホール、総合体育館、温根別公民館の7施設	設置数 6施設	C		博物館、上士別公民館、多寄公民館、勤労者センターに無料通信Wi-Fiを設置し、学習環境を充実させる。	設置数 10施設
85	生涯学習情報センター展示ボランティアの活用	いぶきギャラリー展示に伴う搬入・展示・搬出などへのボランティア活動	生涯学習情報センター	展示ボランティアの活動を要する展示会等の開催時に活動の要請をする。	—	未実施	—	—	施設を利用した各種展示会等における展示は、主催者側、職員で対応している。ボランティアを要する大規模な展示会等が開催されていないため、未実施となっている。	展示ボランティアの活動を要する展示会等の開催時に活動の要請をする。	—
86	図書館ボランティアの活用	図書の整理、イベントの支援などへのボランティア活動	図書館	図書の清拭・整理、館内環境整備、各種イベントの補助。	参加者数 100人	図書の清拭(一般書)ボランティアおすすめ本の展示図書館イベントの補助・参加リサイクルフェアの実施にかかる補助26回実施、登録者12人	参加者数 175人	A	ボランティア活動の中心となっている図書の清拭は、コロナ禍の中で安全な図書の貸出に繋がっている。また、各種図書館事業への開催補助など意義のある活動となっている。	図書の清拭、整理、館内環境整備、各種事業の開催補助。	参加者数 100人
87	博物館施設ボランティア等の活用	13年度発足した博物館ボランティアの育成	博物館	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ50人	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ60人	A	新型コロナウイルス対策の変更に伴い、ボランティア参加機会を増やしたことで、前年度より多くの協力を得ることができた。	13年度発足した博物館ボランティアの育成	活動人数延べ50人
②学校施設の開放・利用促進											
88	学校開放事業(学校体育館)	学校体育館の開放	総合体育館	6校で学校開放を実施。	—	士別小、士別南小、士別中、士別南中、多寄小、上士別中を開放	件数 553件	—	冬期間の利用ニーズが高いことから、利用団体の理解や協力を得ながら調整を図り、活動拠点の提供を進める。	6校で学校開放を実施。	—
89	学校開放事業(文化ゾーン)	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する	社会教育課	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する	件数 20件	実績なし	件数 0件	E	新型コロナウイルスにより、活動が行われていなかったことにより、利用者がいなかった。	南中学校・多寄小学校の特別教室を開放することにより、社会教育関係団体に活動の場を提供する	—
(2) 学習施設間のネットワーク											
①学習施設間の連携											
90	学習施設の連携・情報共有	生涯学習情報誌(サークルメイト)に学習施設の情報を掲載し、共有する。	社会教育課	学習施設の情報を発信する	件数 7件	サークルメイトにて、学習施設の情報を発信する	件数 7件	A	次回サークルメイト発行時に学習施設の情報を更新・発信する。	生涯学習パンフレットにて、施設情報を発信する。	件数 7件
②民間企業や団体等との連携											
91	学習施設での情報の収集	社会教育施設の利用申請によって、企業や団体が実施する学習情報を収集し、必要な情報を市民に提供する。	社会教育課 文化センター 生涯学習情報センター サンライズホール	情報の提供	—		—	—			—
92	まなび☆ガイドの発行と活用	社会教育団体等が実施する体験活動を学校、PTA、イベント主催団体等へ周知することで活動の成果を地域で生かす。	社会教育課	まなび☆ガイドの発行、活用	回数 20回	缶バッジ 2回 流しそらめん 1回	回数 3回	E	掲載プログラムを更新し、関係機関に周知する。	まなび☆ガイドの発行、活用	回数 20回
3. 学習成果を地域還元する仕組みづくり											
(1) 学習発表機会の充実											
①多様な学習発表機会の提供											
93	いぶきギャラリーの開催	創作活動をしている個人、団体などに、自由な発表の場として開放すると共に、多くの市民に鑑賞の機会を提供する	生涯学習情報センター	年間を通じて利用の啓発を行う。	参加者数 10,000人	11団体による作品等の展示延べ496日	来場者 9,529人	A	創作活動を再開する団体が徐々に増えたことから、開催回数・来場者ともに増加となった。市民の自由な創作活動の発表の場や作品鑑賞機会を提供するため、情報提供を積極的に行い、利用促進を促す。	年間を通じてのギャラリー利用啓発の実施	来場者 10,000人
(2) 学習指導者の養成											
①指導者の育成・養成											
94	地域リーダーの育成(自治環境課)	福祉・教育・交通安全・環境問題等の地域解決のための、地域リーダーの育成を図る	くらし安全課	各種研修会の実施	参加者数 350人	①わがまち“しべつ”の未来を語る会の開催(自治連主催) ②町内会活動実践者研修会の開催(自治連主催) ③消費生活サポーター養成講座の開催	参加者数 ①44人 ②13人 ③延べ192人	C	研修会等の開催により、地域リーダーの育成を図った。コロナ禍の影響もあり、参加数が目標値を下回った。	各種研修会の実施。	参加者数 350人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画【PLAN】	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績【DO】	実績値	達成評価【H/E/O/K】	成果・改善策など【ACTION】	令和5(2023)年度計画【PLAN】	目標(指標)値
②講師派遣リストの充実											
95	生涯学習資料「サークルメイト」発行	文化団体の名称等を掲載した「サークルメイト」を作成し、いつでも・どこでも・だれでも学ぶことができる	社会教育課	サークルメイトの発行	回数1回	サークルメイトの発行	回数1回	A	インターネットなどでの掲載方法を検討する。	隔年発行のため、令和5年度は発行予定なし	回数0回
96	まなび☆ガイドの発行と活用	社会教育団体等が実施する体験活動を学校、PTA、イベント主催団体等へ周知することで活動の成果を地域で生かす。	社会教育課	まなび☆ガイドの発行、活用	回数20回	缶バッジ 2回 流しそろうめん 1回	回数3回	E	掲載プログラムを更新し、関係機関に周知する。	まなび☆ガイドの発行、活用	回数20回
(3) 学校教育での学習活動の提供システムの確立											
①地域学校協働活動の推進											
97	地域学校協働活動の推進	幅広い地域住民の参画により、地域全体どこもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が連携・協働して行う様々な活動を行う	社会教育課	地域住民の活動推進	参加者数 人口あたり (17,133人)の 協力者数15% 2,569人	地域住民の活動を推進し、地域住民の学校授業補助などを実施 (人口：R5.3月末17,133人)	参加者数 3,784人	A	地域学校協働活動および学校運営協議会の一体的な推進と市民周知	地域住民の活動推進	参加者数 人口あたりの協力者数20%
98	しべつ土曜子ども文化村の実施	有意義な土曜日を過ごすため、地域人材を活用し、文化活動を中心とした体験活動を提供する。	社会教育課 中央公民館 博物館	積極的な外部人材を講師とした事業の計画	参加者数 45	職業体験 文化体験 ふるさと自然歴史体験 計36名に講師をしてもらい、地域で子どもを育成した。	参加者数 36	B	名称を「士別ふるさと体験広場」に変更し、「ふるさとへの郷土愛」を育む体験活動機会の充実とより参加しやすい制度に変更する。	地域の特色を生かした職業・文化・自然歴史の体験をとおして、児童のふるさとへの郷土愛を育む機会を提供する。	参加者数 45
(4) 地域コミュニティでの学習活動の推進											
①コミュニティ活動の充実											
99	中央公民館 下士別分館事業	パークゴルフ講習会、町民パークゴルフ大会、パソコン教室、しめ縄作り講習会、スキー教室ほか各種講習会・教室	中央公民館下士別分館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	講座数 3講座	・しめ縄作り講習会 令和4年12月27日 ・パークゴルフ講習会 令和4年6月5日 ・士別市総合防災訓練 令和4年9月1日	講座数 3講座	A	・各講座への参加により交流と親睦が図られた。 ・少子化の影響で子どもの事業が実施できない。 ・数年同事業となっており慣例化している。	・パークゴルフ講習会 ・しめ縄作り講習会 ・分館だより「つながり」発行	講座数 2講座
100	中央公民館 中士別分館事業	パークゴルフ講習会、民謡講習会ほか各種講習会・教室	中央公民館中士別分館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	講座数 25講座	・民謡講習会 4月～10月 26回開催 ・パークゴルフ講習会 令和4年6月5日 ・分館だより12月発行	講座数 27講座	A	・各講座への参加により交流と親睦が図られた。 ・少子化の影響で子どもの事業が実施できない。 ・数年同事業となっており慣例化している。	・民謡等各種講習会及び講演会 ・長寿番付表 令和6年1月 ・分館だより 令和6年1月	講座数 25講座
101	中央公民館 武徳分館事業	料理講習会、スポーツ交流会、町民交流会ほか各種講習会・教室	中央公民館武徳分館	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	講座数 4講座	・食生活改善栄養講座 令和4年11月18日 ・料理講習会 令和5年1月12日 ・ストレッチ講習会 令和5年1月16日 ・卓球ルール講習会 令和5年1月16日 ・手作り宝石石鹸講習会 令和5年1月25日	講座数 5講座	A	各講座への参加により交流と親睦が図られた。 ・婦人会の活動が活発であり、様々な意見をもとに講座等を開催できた。 ・広報誌の記事収集に苦慮している。	・書道作品作成 ・料理等各種講習会 ・冬季町民交流会 ・広報「武徳」発行 月1回	講座数 8講座
102	士別公民館だより発行	全戸配布通時	士別公民館	毎月1回(年12回)発行予定	回数 12回	地域イベントを含め、定期的に情報提供できた。	回数 12回	A	地域イベントを含め、定期的に情報提供できた。	毎月1回(年12回)発行予定	回数 12回
103	士別町民パークゴルフ大会	パークゴルフを通じて体力増進・地域交流を深める	士別公民館【体協・スポーツクラブ】	6～9月開催	参加者数 40人	6/19、7/3、9/6開催	参加者数 40人	A	地域内のパークゴルフ大会を開催し、競技を通じて健康増進および地域交流を図ることができた。	6～9月開催	参加者数 40人
104	士別公民館 川南分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	士別公民館 川南分館	5月環境整備 6月上士別町民体育の集い親睦会 8月川南地区親睦の夕べ 3月川南地区料理講習会	参加者数 80人	4/10各種団体運営委員会(11人) 4/30環境整備(46人) 12/24料理講習会(10人)	参加者数 67人	B	新型コロナウイルス感染拡大により多くの活動を行なえなかったが、可能な範囲での分館事業を通じ、生涯学習活動や地域活動の活性化を図ることができた。	環境整備 上士別町民体育の集い親睦会 川南地区親睦の夕べ 川南地区料理講習会	参加者数 80人
105	士別公民館 大和分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	士別公民館 大和分館	6月春の環境整備 8月大和成美親睦会 9月秋の環境整備 1月子どもカルタ大会	参加者数 150人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	—	—	新型コロナウイルス感染拡大により多くの活動を行なえなかったが、可能な範囲での分館事業を通じ、生涯学習活動や地域活動の活性化を図ることができた。	春の環境整備 大和成美親睦会 秋の環境整備 子どもカルタ大会	参加者数 150人
106	士別公民館 兼内分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	士別公民館 兼内分館	6月環境整備 6月上士別町民体育の集い親睦会 8月環境整備 1月兼内冬の集い	参加者数 80人	6/27環境整備	参加者数 16人	E	新型コロナウイルス感染拡大により多くの活動を行なえなかったが、可能な範囲での分館事業を通じ、生涯学習活動や地域活動の活性化を図ることができた。	環境整備 上士別町民体育の集い親睦会 環境整備 兼内冬の集い	参加者数 80人
107	士別公民館 成美分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	士別公民館 成美分館	6月環境整備 7月親子体験学習 9月しめ縄づくり講習会 1月親子カルタ大会	参加者数 20人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。	—	—	新型コロナウイルス感染拡大により多くの活動を行なえなかったが、可能な範囲での分館事業を通じ、生涯学習活動や地域活動の活性化を図ることができた。	環境整備 親子体験学習 しめ縄づくり講習会 親子カルタ大会	参加者数 20人

第2期士別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(OH/OK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
108	多寄公民館だより発行	全戸配布適時	多寄公民館	10回発行予定	発行回数10回	7回発行	発行回数7回	C	コロナウイルス感染拡大防止のため、事業が減少し公民館だよりも記事やお知らせできることが少なく目標値より下回った。	10回発行予定	発行回数10回
109	多寄地域づくり講演会	地区PTAと公民館との共催による講演会の開催	多寄公民館【多寄地区PTA】	未定	参加者数50人	8月2日 講演「買い物環境づくりと買い支え」 講師 日本医療大学総合福祉学部ソーシャルワーク学科(前名寄市立大学)松浦准教授。 講演会終了後は、土別市企画課から多寄の公共交通のあり方についての説明があり、乗り合いタクシーの実証実験の結果を報告した。	参加者数22人	E	3年間多寄地区において実施された、買い物環境づくり研究事業の調査結果を踏まえた講演で、参加者は幅広い年齢層となり、多寄の買い物環境についてや公共交通のあり方について今後どうしていくべきか考えるきっかけとなった。	8月頃開催予定	参加者数50人
110	多寄雪まつり	多寄多語協会が主催する「多寄雪まつり」への協力	多寄公民館【多語協会】	2月開催予定	参加者数200人	主催である多寄多語協会がコロナウイルス感染拡大防止を理由に開催の中止を決定した。	—	—	中止により達成評価ができない。	2月開催予定	参加者数200人
111	温根別公民館異世代の交流会	小中学生と地域住民が「つ」及び文化活動を通じて交流を図る。	温根別公民館	10月上旬 陶芸教室 10月中旬 子ども太鼓教室 12月上旬 卓球教室 1月中旬 もちつき	参加者数15人 8人 15人 20人	9/20 子ども太鼓教室 10/4 めん羊工芸教室 11/29 卓球教室 1/14 もちつき体験	参加者数5人 18人 7人 26人	A	異世代間の交流を図るという目標を達成することができた。	10月上旬 めん羊工芸教室 10月中旬 子ども太鼓教室 12月上旬 卓球教室 1月中旬 もちつき	参加者数15人 6人 15人 20人
112	温根別町公民館だより発行	全戸配布適時	温根別公民館	6回発行	回数780枚(6回)	5月、7月、9月、10月、11月、1月、3月発行	発行回数820枚7回	A	地域イベントを含め、定期的に情報提供できた。	6回発行	発行回数6回
113	温根別公民館 北温分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	温根別公民館 北温分館	開校式・運営委員会、環境整備、料理教室、手芸教室、親子ふれあい祭・開講式	参加者数80人	4/24 開講式・運営委員会 6/18 環境整備 11/20 環境整備 1/22 環境整備 3/11・3/27 手芸教室	参加者数延68人	B	新型コロナウイルス感染拡大により予定とおりの活動を行えなかったが、可能な範囲での分館事業を通じ、生涯学習活動や地域活動の活性化を図ることができた。	開校式・運営委員会、環境整備、料理教室、手芸教室、親子ふれあい祭・開講式	参加者数80人
114	温根別町づくりの会講演会	町づくりの推進を図るため、地域住民対象に開催	温根別公民館	1月下旬～2月上旬開催予定	参加者数40人	12/23 エゾシカ教室	参加者数30人	B	地域にいる身近な動物の事について学ぶことができた。	12月下旬開催予定	参加者数30人
115	温根別冬まつり	バナナポート・チューブ滑り台、もちまきなどのイベントを開催する	温根別公民館	3月上旬開催予定	参加者数200人	3/5 温根別冬まつり	参加者数250人	A	コロナによって過去2年縮小した形でおこなってきたが、今年は新しい形の開催方法でいい、多くの市民でにぎわった。	3月上旬開催予定	参加者数200人
116	朝日公民館 三栄分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 三栄分館	ゲートボール大会(7月、8月) 収穫感謝祭(12月) 料理教室(2月) 手芸教室(2月、3月)	参加者数60人	パン作り教室(1/25)、料理教室(2/5、3/3)	参加者数12人	—	ゲートボール大会、収穫感謝祭については新型コロナウイルスの影響で中止した。	ゲートボール大会(7月、8月) 収穫感謝祭(12月) 料理教室(2月) 手芸教室(2月、3月)	参加者数60人
117	朝日公民館 壬子分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 壬子分館	壬子地区運動会(7月) パークゴルフ大会(8月) 料理教室(1月) 手芸教室(11・2月) 室内軽スポーツ(3月)	参加者数60人	手芸教室(11/23、2/4)、料理教室(1/28)、室内軽スポーツ(3/5)	参加者数32人	—	運動会、パークゴルフ大会については新型コロナウイルスの影響で中止した。	壬子地区運動会(7月) パークゴルフ大会(8月) 料理教室(1月) 手芸教室(11・2月) 室内軽スポーツ(3月)	参加者数60人
118	朝日公民館 登和里分館事業	地域住民の生涯学習活動を推進し、地域の活性化を図る。	朝日公民館 登和里分館	登和里地区運動会(6月) パークゴルフ大会(2月) フラワーアレンジメント(11月) 新年レクリエーション(1月) 料理教室(2月)	参加者数110人	フラワーアレンジメント(11/5)、手芸教室(2/4)、料理教室(3/4)	参加者数33人	—	運動会、パークゴルフ大会、新年レクリエーションについては新型コロナウイルスの影響で中止した。	登和里地区運動会(6月)、パークゴルフ大会(2月)フラワーアレンジメント(11月)手芸教室(1月)、新年レクリエーション(1月)、料理教室(2月)	参加者数110人
②市民活動の交流と連携											
119	市民広場「みなる」の活動支援	市民サイドの人づくり・まちづくりの推進母体として学習活動・情報発信・交流活動などを幅広い活動を展開し、市民の生涯学習活動を助長する。	社会教育課								
1. 生涯学習推進体制の充実											
(1) 生涯学習推進基盤の充実											
①市民フォーラム等の開催											
120	まちづくり講演会	講演会・パネルディスカッション・フォーラム等を開催し、生涯学習によるまちづくりに対する市民意識の高揚を図る	社会教育課								

第2期土別市人づくり・まちづくり推進計画【令和4(2022)年度実績・令和5(2023)年度計画】

No	施策・事業人	事業目的・事業概要	担当課【実施主体等】	令和4(2022)年度計画(PLAN)	目標(指標)値	令和4(2022)年度実績(DO)	実績値	達成評価(CHECK)	成果・改善策など(ACTION)	令和5(2023)年度計画(PLAN)	目標(指標)値
②自主活動グループの育成											
121	「まちの地域力」推進事業	協働のまちづくりを推進するため、市民の主體的な地域活動や市民団体などの公益的な取り組みに対して支援を行う。	企画課	市民団体(グループ)が行う課題解決等に向けた公益的の事業であって、創意工夫による市民への広がりや先駆性・モデル性のある将来的に継続した活動展開が期待できる事業の支援及び地域力による地区別計画につなげる	件数 3件	<ul style="list-style-type: none"> ・ふまねっとサロン推進事業 ・南町五目連交流会「魅力再発見!南町ウォーキング」 ・地域ネット・緑の散歩道「プラットフォーム」整備事業 ・上土別小学校・中学校前バス待合所設置事業 	件数 4件	A	制度の周知を進め、新たな取り組みにつながる支援を行う。	市民団体(グループ)が行う課題解決等に向けた公益的の事業であって、創意工夫による市民への広がりや先駆性・モデル性のある将来的に継続した活動展開が期待できる事業への支援及び地域力による地区別計画につなげる	件数 4件
122	市民学習企画事業(マイプラン・マイスタディ)	5人以上の市民が自主的に企画する学習等で、広く市民に参加を募るものを支援し、生涯学習の推進を図る	中央公民館	随時	件数 8件	<ul style="list-style-type: none"> ・師崎久志氏講演会 5月22日 13人 ・初心者フラダンス体験会 6月23日、30日 延べ25人 ・サップに乗って親子で水上散歩 7月31日 12人 ・いつまでも快適な動ける身体づくりイベント 	件数 4件	E	<ul style="list-style-type: none"> ・市民団体の活性化、学習意識の向上が図られた。 ・単発の事業にとどまることなく団体等の自立に繋げることが課題。 	随時	件数 8件
(2)生涯学習推進組織の充実											
①「土別市人づくり・まちづくり推進協議会」の充実											
123	「土別市人づくり・まちづくり推進協議会」の充実	生涯学習によるまちづくりを推進するための総合的かつ効果的な条件整備の推進を図り、計画の推進に関して調査研究する	企画課 社会教育課								
②「土別市人づくり・まちづくり推進本部」の充実											
124	「人づくり・まちづくり推進本部」の充実	行政全体での生涯学習を推進していくために、施策の実施に関わる協議や総合調整を図る	企画課 社会教育課								

男女がともにきらめくまちプラン

第3期士別市男女共同参画行動計画

平成30（2018）年度～令和7（2025）年度

令和4年度実績・令和5年度計画

第3期行動計画 令和4年度実績・令和5年度計画の構成 ※重点項目抜粋

1. 人権と男女平等を尊重する意識づくり

<数値目標> 配偶者からの暴力に対する相談窓口の認知度 現状：－ 目標：70%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-------------------|------------------------|-------|
| (1) 人権の尊重と暴力の根絶 | ①人権に関する啓発の推進 | p 1 |
| | ②暴力の根絶に向けた取り組み | p 2～4 |
| (2) 男女共同参画社会の理解促進 | ①男女共同参画についての啓発・学習活動の推進 | p 5～6 |
| | ②男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実 | p 7 |

2. 男女の自立を支援する環境づくり

<数値目標> 男性も家事や子育てに積極的に関わり、ワーク・ライフ・バランスを図るべきであると思う人の割合
現状：80.6%（平成29（2017）年） 目標：90%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-------------------------|------------------|-----|
| (1) ワーク・ライフ・バランスの
推進 | ①家庭生活への男女共同参画の推進 | p 8 |
| | ②子育て・介護等の支援の充実 | p 9 |

3. 男女共同参画の社会づくり

<数値目標> ・審議会・委員会への女性の登用率（充て職除く） 現状：48.5%（平成27（2017）年） 目標：50%（令和7（2025）年）
・市の女性管理職の割合 現状20.6%（平成29（2017）年） 目標：25%（令和7（2025）年）

- | | | |
|-----------------------------|--------------------------|------|
| (1) 政策や方針決定課程での女性の
参画の推進 | ①審議会・委員会などにおける女性登用の促進 | p 10 |
| | ②事業所や団体における女性の役職等への登用促進 | p 11 |
| | ③女性の社会参画促進に向けた啓発活動と男性の理解 | p 11 |

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
1. 人権と男女平等を尊重する意識づくり								
＜数値目標＞ 配偶者からの暴力に対する相談窓口の認知度 現状：- 目標：70% (2025年)								
(1) 人権の尊重と暴力の根絶								
①人権に関する啓発の推進								
1	2	子どもの権利に関する周知	こども・子育て 応援課	新規	継続	・子どもの権利に関する認知度を高めるため、市民テラスや市立図書館と連携した新たな普及・啓発活動を実施するとともに、市広報紙での周知、学校や保育所、子どもが集まるイベント等で効果的な啓発・広報活動を実施する。	・市立図書館において、子どもの権利に関する絵本等の展示を実施 ・子どもの権利救済委員会で「救済委員会だより」を発行し、市内小・中学校の全児童生徒に配付	・市民テラスの活用や市立図書館と連携した普及・啓発活動の実施 ・市広報紙での周知、学校や保育所、子どもが集まるイベント等における啓発・広報活動の実施
2	3	人権相談の実施	自治環境課	継続	継続	・6名の人権擁護委員による随時相談対応(通年)のほか、特設人権相談所の開設	・6名の人権擁護委員による随時相談対応(通年)のほか、特設人権相談所を2回開設した。	・6名の人権擁護委員による随時相談対応(通年)のほか、特設人権相談所の開設(くらし安全課)
3	5	ハラスメント防止のための啓発	商工労働観光課 企画課	継続	継続	・市広報紙を活用した周知・啓発(企画課) ・労働状況実態調査時の啓発及び調査実施(商工労働観光課)	・図書展及びパネル展の開催(企画課) ・調査方法の見直しに伴い、実施見送り。(商工労働観光課)	・市広報紙等を活用した周知・啓発(くらし安全課) ・労働状況実態調査時による調査実施(商工労働観光課)

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
②暴力の根絶に向けた取り組み								
4	6	女性に対する暴力や性犯罪の防止に向けた啓発	自治環境課 地域包括ケア推進課 こども・子育て 応援課 企画課	継続	継続	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の庁内電子情報掲示板の活用や公共施設でのポスター掲示による啓発(地域包括ケア推進課)	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の庁内電子情報掲示板の活用や公共施設でのポスター掲示による啓発(地域包括ケア推進課)	・「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の庁内電子情報掲示板の活用や公共施設でのポスター掲示による啓発(こども・子育て応援課)
			自治環境課 地域住民課	継続	継続	・防犯協会や自治会など、地域との連携による安全安心な生活環境整備に努める (自治環境課・地域住民課)	・防犯協会や自治会など、地域との連携による「地域の目と声をください運動」を推進し、安全安心な生活環境整備に努めた	・防犯協会や自治会など、地域との連携による安全安心な生活環境整備に努める (くらし安全課・地域生活課)
			社会教育課	継続	継続	・「指導センターだより」の発行、配付(年2回) ・市内書店、コンビニエンスストアの有害図書、カラオケボックスの点検調査(年2回実施予定)	・夏・冬の長期休業前に配布 ・コンビニエンスストア(5店舗)、カラオケボックス(1店舗)の点検調査を実施	・「指導センターだより」の発行、配付(年2回) ・市内書店の有害図書、カラオケボックスの点検調査(年2回実施予定)

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
5	7	児童・高齢者・ 障がい者等への 虐待防止に向け た啓発	こども・子育て 応援課	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の児童虐待防止月間にあわせ児童福祉施設等にポスター、啓発用ポケットティッシュ、オレンジリボンを配布する。 ・家庭児童相談員を2人配置し児童虐待に関する相談、支援を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待防止月間に児童福祉施設等にポスター、啓発用ポケットティッシュ、オレンジリボン等を配布 ・オレンジリボン運動について庁内デジタルサイネージ、市広報に掲載 ・家庭児童相談員を配置し児童虐待に関する相談、支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・11月の児童虐待防止月間にあわせ児童福祉施設等にポスター、啓発用ポケットティッシュ、オレンジリボン等の配布、市広報等による児童虐待防止の啓発 ・家庭児童相談員を配置し児童虐待に関する相談、支援を行う。
			保健福祉セン ター	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、各保健事業を通じた育児支援を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 妊婦健康相談・マタニティスクール・新生児訪問や乳幼児健診などの保健事業を通じた育児支援を関係機関と連携し実施した 	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関と連携し、各保健事業を通じた育児支援を実施する
			地域包括ケア推 進課	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、庁内電子情報掲示板での周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、庁内電子情報掲示板での周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブック、庁内電子情報掲示板での周知
			福祉課	新規	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページにおいて周知を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者福祉基本計画・福祉実行計画の掲載、土別市障がい者虐待防止センター等の相談窓口を周知するなどを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページにおいて周知を図る

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
6	8	相談窓口の周知 や相談・支援体 制の充実	地域包括ケア推 進課 商工労働観光課 企画課	継続	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、広報にDV相談窓口 一覧を掲載 ・公共施設の女性用及び多目的トイレに DVカードを配置 ・児童幼児施設にDVカード配置 ・市内商業施設、医療機関等にDV相談 窓口記入したティッシュ配置 ・市ホームページ、高齢者福祉ガイドブ ック、市内電子情報掲示板、広報で高齢者虐 待相談窓口を掲載 (地域包括ケア推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、市広報紙にDV相談 窓口一覧を掲載 ・公共施設の女性用及び多目的トイレに DVカードを配置 ・児童幼児施設にDVカード配置 ・市内商業施設、医療機関等にDV相談 窓口記入したティッシュ配置 ・市ホームページ、高齢者福祉ガイド ブック、市広報紙で高齢者虐待相談窓口 を掲載 (地域包括ケア推進課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページ、高齢者福祉ガイド ブック、市広報紙で高齢者虐待相談窓口 を掲載 ・高齢者実態調査、高齢者福祉ガイド ブック、市広報紙で高齢者総合相談窓口 とし周知 (地域包括ケア推進課)
						<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の迅速な支援対応(介護保 険課と協同) ・DV等の相談への適宜対応 ・担当課及び市内連絡・相談体制の確 立、関係機関との連携による支援の実施 (地域包括ケア推進課) ・商工労働観光課での相談対応(商工労 働観光課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の迅速な支援対応(介護保 険課と協同) ・DV等の相談への適宜対応 ・担当課及び市内連絡・相談体制の確 立、関係機関との連携による支援の実施 (地域包括ケア推進課) ・相談対応随時(商工労働観光課) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待の迅速な支援対応(介護保 険課と協同) ・担当課及び市内連絡・相談体制の確 立、関係機関との連携による支援の実施 (地域包括ケア推進課) ・相談対応(商工労働観光課)

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
(2) 男女共同参画社会の理解促進								
<数値目標> 「男女共同参画社会」の用語の認知度 現状：- 目標：70% (2025年)								
①男女共同参画についての啓発・学習活動の推進								
7	9	広報やホームページ等による啓発活動	企画課 商工労働観光課	継続	継続	・情報誌形式による啓発(HP等活用)	・男女共同参画週間に合わせて行われたパネル展において、事業所における育児休業等に関する啓発を実施。	・市HPによる情報提供
			社会教育課 中央公民館	継続	継続	・土別まちづくり塾の開催(社会教育課)	・9回の講義を開催した。(社会教育課)	・自主企画まちづくり活動の計画・実施
			企画課 自治環境課	継続	継続	・広報紙等による情報提供	・広報紙等による情報提供5件(企画課)	・広報紙等による情報提供(くらし安全課)

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
8	10	セミナー・講演 会等の開催	企画課	継続	継続	・男女共同参画週間の啓発等、男女共同参画に関する記事を掲載(8回予定)、パネル展の実施	・広報しべつに男女共同参画に関する記事を5回掲載。 ・男女共同参画週間に合わせてパネル展、図書展の実施 ・女性プラザの後援により、男女共同参画セミナーを開催	・男女共同参画週間の啓発等、男女共同参画に関する記事を掲載、パネル展の実施(くらし安全課)
			各公民館	継続	継続	・公民館講座の開催(中央公民館) ・公民館講座等の開催(上士別) ・公民館講座等の開催(多寄) ・公民館講座等の開催(温根別) ・公民館講座等の開催(朝日)	・公民館講座 4件延130人(中央公民館) ・公民館講座等 5件延20名(上士別) ・子ども会夏休みラジオ体操会 17名参加 ・4地区館合同公民館講座 3件4名参加 ・手話講座 3日間 19名参加 ・高齢者健康づくり講座 26名参加(多寄) ・公民館講座等 7件延82名(温根別) ・あさひクラブ(60歳以上対象) 4事業延 29名(うち女性29名) ・公民館講座・事業 12件(うち2件中 止)延199名(うち女性94名) (朝日)	公民館講座等の開催(中央公民館) 公民館講座等の開催(上士別) 公民館講座等の開催(多寄) 公民館講座等の開催(温根別) あさひクラブ、公民館講座等の開催(朝日)

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
②男女共同参画の視点に立った教育・学習の充実								
9	11	学校における子どもに対する人権・平等・性教育の推進	学校教育課	継続	継続	・人権尊重と男女平等意識の浸透を図るための授業や学習活動の充実	・小学校では道徳の時間(35時間)に、信頼・友情・男女の協力などについて学習した 中学校では道徳の時間(35時間)に加え、社会科(1・2年生105時間、3年生140時間)でも、命の尊重・男女理解などについて学習した	・人権尊重と男女平等意識の浸透を図るための授業や学習活動の充実
			学校教育課	継続	継続	・人権尊重と互いの性や健康を尊ぶ視点に立った性教育の実施	・保健体育の時間などに学習した	・人権尊重と互いの性や健康を尊ぶ視点に立った性教育の実施
			学校教育課	継続	継続	・学校内での教職員の連携の取れた性と健康相談体制の確立	・適宜、相談対応した	・学校内での教職員の連携の取れた性と健康相談体制の確立
10	12	広報等による家庭への男女共同の意識啓発	中央公民館 社会教育課	継続	継続	・家庭教育つうしんの発行 年6回 (社会教育課)	・家庭教育つうしんの発行 年6回	・家庭教育つうしんの発行 年6回 ・講演会の開催

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
2. 男女の自立を支援する環境づくり								
<数値目標> 男性も家事や子育てに積極的に関わり、ワーク・ライフ・バランスを図るべきであると思う人の割合 現状：80.6%（平成29年） 目標：90%（2025年）								
(1) ワーク・ライフ・バランスの推進								
①家庭生活への男女共同参画の推進								
11	15	男女の育児や介護・家事など相互協力の推進	企画課	継続	継続	・子育て世代の積極的参加を促すため、事業・講座等の託児サービスの充実	・託児サービス申込み件数：29件（うち5件キャンセル） 利用子ども人数：46名	・子育て世代の積極的参加を促すため、事業・講座等の託児サービスの充実（くらし安全課）

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
②子育て・介護等の支援の充実								
12	17	子育て施設・ サービス支援の 充実	保育推進課	継続	継続	・専任保健師、保育士によるミニ講 話 ・マタニティDAY ・赤ちゃんDAY	マタニティDAY 17組 32人 赤ちゃんDAY 62組136人 各種育児講座 19組 37人 ハンドワーク 8組 6人	・専任保健師、保育士等によるミニ 講話 ・マタニティDAY ・赤ちゃんDAY ・各種育児講座
13	19	相談窓口の周知	保育推進課	継続	継続	・子育て支援センターの相談体制の 充実 や育児相談の実施	・育児相談件数 252件 (発育59.1%、虐待防止28.2%、生 活環境8.7%、発達7.5%、関わり 5.6%、生活習慣・栄養・その他各 11%)	・育児相談の実施
			保育推進課	継続	継続	・訪問型育児相談の実施	・妊婦面談 60組68人 ・訪問支援 保護者(妊婦・産婦・ 養育者)31名、子ども(乳幼児・そ の他)39名 ・来所支援 保護者(妊婦・産婦・ 養育者)23名、子ども(乳幼児・そ の他)6名 ・電話支援 保護者(妊婦・産婦・ 養育者)6名、子ども(乳幼児・そ の他)1名	・伴走型相談支援の実施

第3期士別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
3. 男女共同参画の社会づくり								
＜数値目標＞								
○審議会・委員会等への女性の登用率(充て職除く) 現状: 48.5% (平成29年) 目標: 50% (2025年) / ○市の女性管理職の割合 現状: 20.6% (平成29年) 現状:								
(1) 政策や方針決定過程での女性の参画の推進								
①審議会・委員会などにおける女性登用の促進								
14	41	審議会・委員会等への積極的な女性用等の継続	総務課 各公民館	継続	継続	・各種審議会、委員会の委員公募の継続と積極的な女性の登用、公表(各公民館・総務課)	・中央公民館運営審議会委員10名うち女性5人 ・上士別公民館運営審議会委員8名のうち女性2名 ・多寄公民館運営審議会委員8名のうち女性3名 ・温根別公民館運営審議会委員8名のうち女性4名 ・朝日公民館運営審議会委員8名のうち女性3	・各種審議会、委員会の委員公募の継続と積極的な女性の登用、公表(各公民館・総務課)

第3期土別市男女共同参画行動計画 実施計画・実績 (重点目標抜粋)

重点 番号	事業 コード	事業名	担当課 (前年回答課)	行動計画 への掲載	事業の 継続	令和4(2022)年度計画	令和4(2022)年度実績	令和5(2023)年度計画
②事業所や団体における女性の役職等への登用促進								
15	44	企業・事業所等 に対する情報提 供や啓発の推進	商工労働観光課	継続	継続	・HPなどによる啓発	・男女共同参画週間に合わせて行わ れたパネル展において、事業所にお ける育児休業等に関する啓発を実施	・HPなどによる啓発
16	45	市職員の女性管 理職等の登用促 進	総務課	継続	継続	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置 等の実施 (4/1現在女性管理職(医療職除 く)17名 17.5%)	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置 等の実施 (4/1現在女性管理職(医療職除 く)17名 17.5%)	・特定事業主行動計画の推進と男女 共同参画の視点に立った人事配置 等の実施 (4/1現在女性管理職(医療職除 く)17名 18.6%)
③女性の社会参画促進に向けた啓発活動と男性の理解								
17	47	セミナー等によ る理解促進機会 の提供	総務課 企画課	新規	新規	・6月23日から6月29日の男女共同 参画週間の啓発等、パネル展の実施 (企画課) ・職員研修の実施(総務課)	・市広報紙に男女共同参画に関する 記事を 5回掲載したほか、デジタルサイ ネ ージを活用した周知を実施した ・女性プラザの後援により、男女共 同参画セミナーを実施した(企画 課) ・女性職員を対象とした研修を実施 し、録画した研修内容を全職員に公 開した(総務課)	・男女共同参画週間の啓発等、パネ ル展の実施(くらし安全課) ・職員研修の実施(総務課)